

# 通信 シルバー秩父

平成28年11月18日号

## 就業報告書について

就業が完了した際には、会員はセンターに「就業報告書」を提出します。就業報告書とは、会員が仕事の完成・遂行についてセンターに書面で報告するもので、請負契約であれば仕事の完成時に発注者の確認を得たうえでセンターに提出します。  
**勤務実績通知書・派遣元への通知書**

派遣での就業の場合は「勤務実績通知書」を会員がセンターに報告します。派遣での就業の場合は請負での就業と異なり、ますので、日々発注者の確認を得たうえで、月ごとにセンターに提出します。

就業報告書及び勤務実績通知書は、配分金（賃金）計算の基礎となる大切なものですから、その作成に当たっては留意してください。

※請負 請負った業務が発注者の指揮命令を受けずに独立して処理できるもの

※派遣 会員が派遣先事業主の

指揮命令を受けて就業するもの

## 就業に当たって

シルバーを通じての就業は、請負・派遣に関わらず契約行為となります。発注者に対し、個人的に仕事をすることを持ちかけることは、シルバーの利益を害する行為（利益相反行為）となる恐れがありますので控えてください。

また、個人的に作業を行い、事故が発生した場合には、当然のことながら「シルバー保険」の適用はありませんので、ご留意ください。

## 飯山地域シルバーセンターが 研修視察のため来秩



9月15日、長野県の飯山地域シルバー人材センター役員15名

が来訪し、交流研修を実施しました。当シルバーから理事・監事が対応し、概要説明をはじめ、竹細工、手作りまんじゅう等の独自事業、ファミリースポーツ事業、農園事業など約2時間に亘る話し合いとなりました。

同センターには、昨年の役員研修の際、訪れた経緯もあるため、より熱心な胸襟を開いた議論となりました。

その後、シルバー農園に移動して、農園に従事している会員からの説明により、現地を視察しました。

さらに翌日は、シルバーガイドにより秩父観光を行っていたいただきました。

## 新会員紹介

次の方たちが新しく仲間になりました。よろしくお願ひします。（敬称略）

九月

加藤春由 中井理右 島崎式夫

浅海公江 宮谷文夫

十月

大前久好 新井光男 浅見宗吉

菊池直視 菊池スミ 原 実男

## ◎無人野菜班からのお願い

野菜を買っていただいたお客様が持ち帰る時に使用するスーパリーのレジ袋が足りません。ご

自宅で使わない袋を寄付していただけないでしょうか。よろしくお願ひします。

## 親睦会新年懇親会のご案内

日時 平成29年1月18日（水）  
午後6時

会場 農園ホテル

※会費を含め詳細は後日お知らせします。

## バザー収益金を市に寄付

9月11日に開催した第9回シルバーまつりのバザー等の売上金から経費を差し引いた3万1533円を地域の社会福祉活動事業活用のため、10月31日に秩父市に寄付しました。

併せて当シルバーに届けられた熊本地震災害義援金についても寄付しました。



## イベントへの参加

10月30日

いきいきフェスティバル

今年も県民活動総合センターにおいて開催されたイベントに参加しました。

手作り小物・まんじゅう・シルバー農園で採れた野菜などを販売し、センターのPR活動を行いました。

まんじゅうは午後には完売、野菜もほぼ完売となりました。また、今回から初参加となった、釣り堀に見立てた「折り紙つり」には、多くの子供たちが集まり、人気となりました。



## 夜祭ボランティア

日時 12月4日(日) 午前8時  
集合 福祉女性会館

※福祉女性会館から秩父神社まで行きます。希望者は12月1日(水)までにお申し込みください。

## 囲碁・将棋クラブ 日程

1月21日(土)、2月18日(土)

3月18日(土)、4月15日(土)

会場 福祉女性会館第5会議室

時間 午後1時～5時

※日程の日にお集りください。

## 植木剪定研修

日時 12月19日(月)

午前9時～午後4時

会場 秩父市下水道センター

内容 松の剪定他

受講者 会員30名程度

※当日は、作業のできる服装で、剪定道具、梯子、弁当持参のこと。剪定道具のない方は貸与します。雨天の場合は20日に順延します。

## ◎就業十訓

- 一 朝のあいさつ・帰りのあいさつを必ず行うこと。
- 二 就業中は誠意ある態度と笑顔忘れず共働して就業すること。
- 三 就業中は私語を慎み、依頼者のことを詮索したり説教じみた言動は避けること。
- 四 就業中は体調の変化に注意し、作業の安全を図ること。

五 就業で知り得た事項は他に漏らさないこと。

六 絶対に酒気を帯びて就業しないこと。

七 発注者及び会員同士の金銭の貸し借りはしないこと。

八 発注者及び会員の悪口は話題にしないこと。

九 就業は自宅を出てから帰るまで、往復の交通に注意すること。

十 終了時は発注者の確認を受けること。

## 会員だより

### 猿も木から落ちる

### 枯れ枝に気をつけろ

石嶋 善司

猿は木から落ちても軽い失敗で済むが、人間の場合は大変な事態となる。今年立木からの転落事故が続いて二件も伝えられた。いずれも当シルバー人材センターの事故ではないが、死亡事故になったと言う。なぜ転落したのかは全く不明であるが、何か小さなミスがあったのではないかと考えられる。

そこで私の過去の体験を思い出し、その一部を再現して見ることとした。

私の住んでいる地域の家々には古くから柿の木があり、秋に

は吊し柿づくりのための柿取りが盛んに行われてきた。私も若いころから柿取りのためによく木に登った。柿の木はいずれも高く大木であり、手と足を使いよじ登っていくのだが、真下を見れば目がくらむような高さで足が震えるが、やがて高所に慣れてくると竹竿を自在に操り、柿が取れるようになる。

木に登る時に、いつもの父親から「枯れ木に気を付けろ。」と言われてきた。柿の木は秋になり木の葉が落ちると見た目には枯れ枝と生木の判別がつかない。もしも、誤って体重をかければ、枯れ枝もろとも瞬時に落下する危険が待っている。

そこで、枯れ枝を見極めるために、安全な足場を決めてから、片足で枝をポンと軽くたたいてみたところ、太い枯れ枝はポキッと折れて瞬時に落下した。

このことからいつも枯れ枝を確認することを怠らないよう心掛けてきた。

たかが枯れ枝の事と軽くみてはいけない。「命取りの枯れ枝」である。

会員だよりの原稿を募集します。テーマは何でも結構です。字数は700字程度。原稿は事務所までお持ちください。